

第27期火災予防審議会人命安全対策部会 第2回小部会 開催結果

1 日 時

令和7年10月31日（金） 午前10時00分から午前11時58分まで

2 場 所

東京消防庁本部庁舎 8階 特別会議室

3 出席者（二重線：リモート参加）

（1）委 員（敬称省略：五十音順）

池畠 由華、大宮 喜文、佐野 友紀、藤井 皓介、古川 容子、水野 雅之、
峯岸 良和、吉岡 英樹

（計8名）

（2）東京消防庁関係者

予防参事、予防副参事、対策担当係長、建築係長、自衛消防係長、消防設備係長、
事務局

（計9名）

4 議 事

- （1）令和7年度の調査事項の中間報告について
- （2）検討対象の整理について
- （3）アンケート調査の内容について

5 資料一覧

- （1）令和7年度の調査事項の中間報告について…………… 資料1
- （2）検討対象の整理について…………… 資料2
- （3）アンケート調査の内容について…………… 資料3
- （4）第1回小部会議事概要…………… 参考資料1
- （5）第2回部会議事概要…………… 参考資料2
- （6）第2回部会委員意見の概要…………… 参考資料3
- （7）火災事例まとめ…………… 参考資料4

6 議事要旨

(1) 令和7年度の調査事項の中間報告について

【事務局】

資料1の説明を行った。

【委員】

まずは、貴重なご説明、大変ありがとうございます。

57枚目にお戻りいただきても大丈夫ですか。ありがとうございます。貴重なご回答いただいたいているんですが、2009年のジャパンガーデンシティは二方向避難が確保されていなかった。あと、扉の施錠のこともあるんですが、そもそも、日本で言うところの正確な意味での避難階段がなかった。要は、階段が区画されていなかったということも重要な情報ですので、記載していただいてもいいのかなというところです。あと、2017年のグレンフェルタワー、これも非常に重要な火災なんですねけれども。残念ながら死者の方々もたくさん出られて。こちらは外壁の火災もあるんですが、建物の内部ですね。一つしか階段がないという話もありまして、区画がしっかりされていなかったというところもありますので、そこら辺をしっかりと記載していただければ、さらに良いものになるのではないかなと思いました。これが1点目です。

あと、2点目。先ほども外壁開口部という話も延焼経路として出ていたんですが、2点目の質問といたしましては、名古屋の共同住宅の火災が外壁関係で、かつ、上階延焼しているということがありましたので、避難の観点からどこまで重要かということもあるんですが、その調査は今のところどんな状況でしょうか。海外の件と国内の件と1件ずつ質問をさせていただきましたのでよろしくお願ひいたします。

【事務局】

事務局のほうからお答えさせていただきます。ご質問ありがとうございます。

1点目の件につきましては、今、委員からご指摘いただきましたとおり、57ページの部分につきまして詳細に追加事項を加えさせていただき、部会までには訂正をさせていただこうと思っております。

2点目の名古屋市の共同住宅で上階延焼したという件なんですけれども、こちらに關しましては、まだ、詳細な検証ができていない状況でございます。今回につきましては、資料の中間報告、データ分析を進めながら、課題出しというところでございましたので、今後、そちらの点も踏まえて検討しながら部会に臨んでまいりたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

【委員】

貴重なご説明ありがとうございます。まず、いくつかお聞きしたいことがあって。3枚目の今回のデータの規模なんですけれども、「当初、3,000m²以上の建物を対象としていたが」というところで、今回の「11階以上の建物を限定し」というのは、広さの限定をせずに階数だけでという形ですか。

その階数というのは11階以上の建物で、用途としては単一用途ではなく、複合用途のものも含まれていて、ここで用途とおっしゃっているのは、複合用途の建築物の中の共同住宅部分だけを取り出してとか、そういう形で分析されている。建物ごとではなく、建物の中に複数の用途がある時に、例えば1の建物に三つの用途があったら、三つの事例になるということなんですか。

【事務局】

ご指摘いただいた1点目。当初、3,000m²以上と言っていたんすけれども、3,000m²で切らずに、11階以上すべてで今回は分析させていただきました。もし、ご要望があるようでしたら、さらに11階以上の中から3,000m²未満を削除すれば、3,000m²以上で11階という建物で切り出すこともできますし、当初、申し上げていたとおり、3,000m²以上だけでも切り出すことは可能です。もし、ご要望があるようでしたら、そちらのデータもご用意することは可能でございます。現在は、委員のご指摘のように、11階以上で面積関係なくすべてということで、こちらのデータを出させていただいております。

【委員】

他のデータが必要かどうかは、これから分析していくって、どこに注目していくかによると思うので、現時点ではどちらかはわからないんですけども。少なくとも前提として、11階以上で広さ無制限ということなので、書いておいていただくといいかなと思いました。

【事務局】

承知いたしました。

それと、こちらは非常にわかりづらいんですけども、右下が14という数字のページを見ていただくと、この出火場所用途というのは、本当に火災が発生した場所が何の用途だったかというのを示しています。なので、複合用途であっても、共同住宅の部分で発生すると共同住宅に分類しまして、それ以外ではそれ以外。今、説明しました非該当というのは、複合用途の共用部で発生したものは、非該当というところに分類をしている。そういうものになります。

【事務局】

ちょっとわかりづらいので、ここもしっかりと注釈を付けさせていただきたいと思います。

【委員】

そうですね。どこで出火したのかなというのがちょっと読み取りにくいかなと思いました。

【事務局】

おっしゃるとおりかと思いますので、ここは表記も合わせて、次の部会までにしっかりと修正をさせていただきたいと思っております。

【委員】

それから、感想というかコメントなんですが、共同住宅で避難されない方が多いとか出火が多いとなっていますが、出火の時間帯にもよるのかなと思って。共同住宅はやはり就寝用途ですから、夜間の火災ですと逃げられないとか。昼間だったら逃げやすいとかがあって、もしできいたら、出火時間帯がわかるといいかなと思いました。

それから防火区画を超えた延焼というのは非常に大きな問題だと思うんですけれども、ご説明ありましたように、水平方向ではなく、垂直方向でバルコニーがというお話もあるでしょうが、防火区画の種類、防火設備の開口部なのか、壁を超えるということはまずないと思うんですけども、どういった防火区画を超えていったのかというところは、少し細かくわかるといいかなと思いました。以上です。

【事務局】

承知しました。出火時間でも分ける部分と区画のところの内容につきましては詳細に。これから確認させていただきます。

【委員】

スライドの15枚目。用途別の火災発生割合で、ホテルが共同住宅よりも高いというのが何か意外だなと思ったので、この理由を伺いたいと思います。あと、ホテルというのは11階以上の建物に限定されたものなのか、それ以外のものも含まれているのかをお伺いしたい。あと、感覚として11階より高いホテルというのは管理とかしっかりとしてそういうので、そんなに火災が起きるものなのかなと思いました。

あと、実際に報告される割合というものがあるのかなと。共同住宅だと報告されない場合があるのに比べると、ホテルの場合はしっかりと報告するから率も高くなるということがあ

るのかなと思ったんですけれども、そこら辺についてもう少し情報があったらお答えください。

【事務局】

その詳しい分析がまだしっかりとできていませんので、そこも含めて、次回までにしっかりとそこも分析したいなとは思っております。ただ、一応、数字的にはこのように出ていまして、ちょっと感覚的なお話で申し訳ないんですけども、最近はリチウムイオンバッテリーの火災とかも非常に増えてきてまして、ホテルで就寝中、充電中に出火するという事例が、最近、結構目にするところです。建物の出火割合については、ぼや火災から全部入っておりますので、本当に少し燃えたものもこの件数の中に含まれているということで、これから詳細に分析をする必要はあるんですけども、一応、数字的にはそのような形で出ているということでございます。

【事務局】

事務局から 1 点追加をさせていただきますと、共同住宅に着目して説明をしてしまったのでわかりにくかったんですけども、28 ページのスライドが部分焼を示していますので、1 m²以上燃えたもの、ある程度燃えたものというところで分けております。

そうしますと、ホテル火災のうち、部分焼、1 m²以上燃えたものというのは 1 %程度ということになりますので、割合としては多く通報されているので、消防のほうで覚知をしているんですけども、ほとんどはぼやという数字かと思います。

【委員】

わかりました。なるほど。データを照らし合わせて見ればわかるということですね。

【事務局】

そういうクロス分析というか、そういうところがしっかりできていないので、生データを出したような状況ですので、そういう細かいところも、今後、分析していくかないといけないのかなと思います。これをそのまま報告書の中に添付するというのはよろしくないと思いますので、しっかりそこは分析していきたいと思います。

【委員】

スライド 5 枚目のところで、データを詳細に分析していただいて結構かと思うんですけども、ここは議論かなと思うんですが。実際には全焼、半焼の例はないということで、そういう時に消防活動は問題になるかどうかというようなことが一つ問題になると思うんですけども。今回のデータの分析の大きな趣旨と言いますか、部分焼を中心に見ていくのか、

ぼやも部分焼に展開する可能性があるので、そういうところも詳細に見ていくのか。その辺りの考え方をどういうふうに考えていくかが、一つポイントかなと思いました。

それから、いろいろな割合を出していただいている、すごく重要なと思います。その中で、そちらでも分析しているんですけども、例えば14枚目のスライドを拝見すると、母数となる事例数が違うということで、それをベースに割合などを出していった時に、誤解を受けないように、母数あるいは分散のデータというものが一緒にあるといいかなと思ったんですが。15枚目のスライドを見ますと、母数が少ないので、あまり検討されていないのかもしれないですが、先ほどの右のスライドでホテル35%、共同住宅で16%ということなんですが、パーセンテージだけを見ると、学校、劇場、停車場とかが結構同じぐらいの割合かなと思いながら。前に戻ると、例えば停車場の火災は3件ぐらいしかないとか。母数がバラバラの割合ということだと思うので、なかなか難しいんですけども、この辺がわかるようにしていただけるといいのかなと思いました。よろしくお願ひいたします。

【事務局】

ありがとうございます。事務局から回答させていただきます。二つ目の母数の件につきましては、おっしゃるとおりだと我々も思っております。データをまとめた後で、母数がないとなるともわからないなど、我々も気づいたところでありまして、次回までに全体の母数がいくつなので、その上でこういうデータになっているというところをしっかりとお示しさせていただければと思います。

それと、最初のほうの趣旨、考え方のお話なんですけれども、これは次のテーマ、資料2のほうに絡んでくるのかなと考えているんですけれども。基本的には、全焼、半焼とか、そういう大きな火災に至らないものを対象として、今回、新たな避難戦略を考えはどうかなど、現在、事務局のほうでは考えておりまして、その件については、委員の皆様方にご意見をいただきたいなど。要は、全館一斉で逃げずに順次避難で逃げるんですけども、順次避難をする時に、できるだけその対象は、火災の被害が、今までの統計から少ないところをまず対象として、そういった新たな試みをやってみてはどうかということで、この分析結果に基づいて、高層、大規模な防火対象物の避難戦略を考える対象をここにしようという考え方で持っていきたいと、現在、考えているというところでございます。

【委員】

母数の件は、他の委員と同じで疑問を持っています。建物階数別の件数とかのデータで割っていただきたいなと思っていました。

質問なんですけれども、この検討は、避難開始のタイミングがすごく重要だと思うんですけども、報告書には、どういうタイミングで避難をしたとか、そういう情報はないんでしょうか。

【事務局】

ありがとうございます。一応、報告書の中には書いてあるものもあれば、書いていないものもあり、我々の収集がよくないのかとは思いますけれども、今、避難するタイミングはどうでしたかという項目自体が明確にないので、報告書の中に書いてあるものもあれば、書いてないものもあって、あるもので分析することは可能ですので、報告書の中で調べてお示しすることは可能かと思います。

【議長】

私から 1 点。全般として凡例などについて、わかりづらいところは補足してまとめていただければと思いますのでよろしくお願ひします。また、クロス集計の結果など、知見としては有益なものが多いですので、しっかりとまとめていただければと思いますのでよろしくお願ひいたします。

【事務局】

了解いたしました。

【議長】

では、特にないようであれば、次の議事に移らせていただきます。

(2) 検討対象の整理について

【事務局】

資料 2 の説明を行った。

【委員】

7 枚目のスライドで、特定用途、非特定用途は、消防法上、こういうふうに決まっていると思うんですけども、おっしゃるように、いわゆる不特定だとか法律では言ってるんですが、例えば、図書館、博物館とか、物理的には駐車場みたいなものとか、実際には不特定多数がいるようなものもあるなど。あと、停車場とか。ちょっとこれは区分が難しいですけれども。共同住宅以外を、今回、68 ページ目で対象にしようということで、イメージするものが、いわゆる事務所というのはなんとなくわかるんですけども、その範囲に入ってくるのかどうかがちょっとわからなかつたんですけども。その辺りのお考えはいかがでしょうか。

【事務局】

委員ご指摘のとおりかと思いますので、確かに図書館とか博物館に来る方は不特定多数の方だろうと、停車場にいるのは、当然、不特定多数ではないかというご指摘はもっともだと思いますので、そこはもう一度考えさせていただきたいなと思います。

【委員】

ありがとうございました。法規上からスタートした整理の方向性というのは非常によくわかるところではありますけれども、今、おっしゃったように、もう一度、精査していただけすると、より緻密になるかなと思いました。ありがとうございます。

【委員】

細かい話になるんですけれども、検討対象の整理についてという4枚目のスライドのところで二つあって。一つは、避難上の困難性が高いという話はわかったんですけども、次の項目で、消防法令上と書いてあるところで、何で消防法令上こうだと順次避難なのかなと最初に疑問に思ってしまって。読み進めていくと、そういうた設備がないと順次避難ができないからなんだとわかるんですけども、最初にそれがわかったほうがいいように思ったので、例えば、順次避難に必要な消防設備等（スプリンクラーや非常放送、防災センターが必要となる基準があるため）とか、ちょっと一言あるといいかなと思いました。以上です。

【委員】

すみません、私もちよつと細かい点かもしれないんですけども。6枚目のスライドで、調査対象データが500名以上の避難者が発生した火災を対象にされているということでよろしいですか。なぜ500名以上なのかちよつとわからないんですが。

【事務局】

今回のデータの取り出しとして、ある程度大きな数というのをどこで切ろうかというのは、こちらでも検討をしました。その中で、全館避難に至るものというのは、かなり件数が少なくて、その中で、ある程度件数が取れるところで線引きをしたというのが、こちらのところなんですけれども。もう一段低いラインでということであれば、それも可能ですし、その設定につきましては、皆様方でご審議いただいて、この点をもう少し評価してくれとか、調べてくれということであれば、我々のほうで順次、対応させていただきたいと思っております。

【委員】

資料1のほうで、避難者100人以上のところで区切っていた部分があつたと思ったので、その部分と比べると、ちょっと規模が大きくなっているなというところがちょっと疑

間に思った次第です。

【事務局】

承知いたしました。100名のゾーンのところから、もう少しデータのほうは詳細に見ていくことは思っております。ただ、逆に100名ですと、消防隊到着までに概ね避難が完了していることが多いのかなというところが想定できまして、避難者が残っている時間、消防隊の到着の時間等を加味したところでということもあるんですが。委員のおっしゃるとおり、詳細に見ていきたいと思います。

【委員】

安全を確認できたので、直接、火点階にということで、どんなふうに安全を確認したのかとか、あるいは、以前の話だと、それには関わらず下の階でというお話もあったと思うんですけども。ある程度、安全が明確に確認できるのであれば、火点階に行くのが本当にいいのかはわからないんですが、戦略の考え方の参考になると思いますので、もし、そのようなことがおわかりになればお聞きできたらと思いました。

【事務局】

事務局のほうから回答させていただきます。ご質問、ありがとうございます。今回、大規模な対象物におきまして、どうしてこのような形が取れるのかというのを、ある程度大規模な建物で確認をしたんですけども。火点階から攻めるというのは、火点階に拠点を置いて、上階部分の活動に当たるというのが基本なんですけども。ただ、その場合には、建物の規模にも非常に大きく左右されまして、例えば、下階から延ばすホースの本数につきましても、非常に多くの本数を必要としたり、複雑なホースの延長を求められたり、逆に、消防活動にすごく支障が出てしまうということがわかりました。それに対し、区画されている部分に拠点を置くことによって、より活動がスムーズになると、あとは、実際に先行する自衛消防隊のほうが火災の状況を確認しておりますので、そこからの情報、先行した消防隊の確認によって、安全確認された後に、そこに拠点を置いているという認識だということでございます。そのような状況でございますが、詳細にお調べていきたいと思っております。

【委員】

ありがとうございます。いろいろ避難の状況を考えると、火点階に拠点があるほうが避難的には少し有利かなということもありますし、どちらがいいかということ、あるいは、決まりどおりではないから悪いということを言うつもりはまったくありませんので、まずは、ここでは情報共有として状況を確認させていただいて、皆さんで議論できればいいかなと思いました。以上です。

【委員】

順次避難の検討ということなんですかけれども、ここでやろうとしていることは、東京管内にある、この条件に当てはまる建物に対して、「この順次避難の計画をやらないといけないですよ」というものをつくろうとしているのではなく、自分の建物のところは、一斉に避難させるみたいなことはしんどいから順次避難を計画したいと。その時に、ひな型となるようなものを用意したいという理解でいいんですか。

【事務局】

おっしゃるとおりでございます。

原則、消防法上は、まず、火災が発生した階とその直上階に避難を促すことになっておりまして、一定程度時間が経つと、他の階も一斉に避難をするという形になりますけれども、その形を取るのであれば、消防法上の決まりですので、そういうふうに避難していただいてもいいと。ただ、今回、この対象となったところでは、そういう別の選択肢というものも、オーナーさんや管理する側が望めば、当然、そういう選択もできますよというふうにしていきたいと考えております。

【委員】

消防法の中で避難のさせ方というのは決まっているんですか。

【事務局】

避難のさせ方というか、鳴動方法が決まっているので、「避難をしてください」という鳴動をしてしまうので、各階とも同時に避難が始まってしまうということです。

【議長】

7ページ目ですけれども、特定用途、非特定用途について定義、用途の例を提示いただいているのですが、その下に複合用途の考え方もあります。8枚目の防災センター設置状況についての用途別の円グラフがあるんですが、これが非特定用途と特定用途が明確にわかりづらいところがあります。これは第26期火災予防審議会からの引用だと思いますが、可能であれば、もう少しあわかりやすく整理していただければと思います。

【事務局】

承知いたしました。今回の検討用にしっかりとわかりやすい資料に修正させていただきます。

【委員】

今回、複合用途は対象にするのかということと、非常に難しいと思うんですが。複合用途の中に非特定用途、例えば事務所みたいなものが入っている時に、取り出して検討するようなことも考えられているのか、お伺いできればと思いました。

【事務局】

ここには明確には書いていないんですけども、事務局の試案としては、できれば、ご指摘のような事務所ビルをメインターゲットにしたいんですが、事務所ビル単独で建正在ことのほうが少なくて、下層に飲食店が入っている場合とかが結構あります、そういうところは複合用途になってしまふ。なので、下層に飲食店とか物品販売店舗が入っているところは、できるだけ除外しなくてもよろしいのではないか。そこは、火災が発生した時にすぐに逃げていただいて。下層なので、避難階により近いので、すぐ逃げていただけると。ただ、上のほうは事務所が入っているので、今回の対象とちょうど合致するので、単項ではなくても、複合でも、そのような特殊な形状のものは対象としてはいかがかなというのは考えております。データ自体、皆様方に議論していただくものが用意できなかったので、今回は、そこは提案としては入れていないんですけども、試案としてはそのようなことを考えておりまして、先ほど申し上げたとおり、複合用途も入れたらどうかというのは、そういうところでございます。

【委員】

ありがとうございます。非常によくわかりました。

今のイメージは、何本かビルが建っていて、1本がオフィスビルのみという形だと思うんですけども。ご存知のように、上のほうにホテルとか住宅とかが一つのビルの中に入って、その中に事務所があるようなケースもあるので、非常に多様なケースがあると思うんです。ですので、まずそれを整理されが必要なのと、お互い影響がないことが重要だと思いますので、中がどういうふうなつながりであるとかも重要なのかなと思いました。議論が先走るかもしれません、以上となります。

【事務局】

ありがとうございます。そのような視点も踏まえて、資料のほうはまとめたいと思います。

【議長】

ありがとうございました。それでは、次の議事に移らせていただきます。

(3) アンケート調査の内容について

【議長】

議事3として、アンケート調査内容についてということで説明をお願いいたします。

【事務局】

資料3の説明を行った。

【委員】

アンケートを依頼する際の依頼者の名前がどうなるのかなというのが気になりました。例えば、調査会社の方が配るにしても、「東京消防庁からの調査です」と書くのか。建物利用者に対してアンケートを出す場合、「建物の管理者から皆様にお伺いします」と書くのか。そこがちょっと気になりました。というのは、特に水色のほうで、避難の方法がどういうほうがいいですかみたいなことを聞いてるので、これを東京消防庁とか建物管理者から在館者に聞くというのはどうなのかなと。私が建物利用者だったら、この建物はちゃんと管理体制ができていなかったのかと疑問に思ってしまう気がして、この質問は私はちょっと疑問に思いました。

あともう1個が、このアンケートの中で、炎の写真を火災のイメージとして出しているんですけれども、実際に建物の中にいる人は、火災の実際の絵を見ない状況で、放送とかを聞いて避難をしなければいけないという状況になっているので、こういう写真を出してしまっては、ちょっとミスリードではないのかなという気がしています。研究実験をやる場合だとそうなるんですけども、この場合はそこまで気にしなくてもいいのかなと思うんですけども。趣旨に応じてそこは調整されるといいかなと思うんですけども。2点でございます。

【事務局】

ありがとうございます。事務局のほうからですけれども、今回、避難の方法について入れさせていただきましたのは、今の枠組みの中でできる避難というものと、今後、行うべきものというところを気にして質問をさせていただいているものでありますて、これは建物のオーナーから聞くというのは確かにあまりよろしくないのかなというのは感じましたので、聞き方については、こちらで十分検討させていただきたいと思っております。

一方で、一般的なユーザーの考え方というのを聴取しながらというのも、やはり重要なことかなというふうには事務局でも認識しておりますので、そこは、こちらのほうでもまた検討して行なわせていただきたい。また、委員の皆様からのご意見もいただければと思っています。

2点目の火災のイメージというところでなんですかけれども、あくまでも、どの程度の火災かというのを共有していただくために、これはA Iでつくったものなんですかけれども。今、事務所で勤務している方の火災のイメージというと、パソコンのコンセントから煙が出たとか、そういったところのイメージなのか、はたまた何かが燃えたのかというところで、ちょっとイメージが違うものですから、一つ参考になるようなものとして付けさせていただいたものでございまして、不適切であれば、こちらのほうは変更させていただきたいと思っております。回答は以上です。

【委員】

いただいたコメントに対して、少しだけコメントがあるんですけれども。この写真について、私としては研究実験の場合は結構気になるんですけれども、今回は、調査の趣旨に応じて、対象の方がイメージできないと回答できないという意味合いで使われるというのはいいかなと思います。

あとは、避難方法については、在館者の方としてそういう方がいいか、それを伺うこと。あと、自分としてはどういうふうに考えているのかという意見を伺うということはいいとは思うんですけども。多くの在館者の人が思っている方法が正しいかというと、必ずしもそうでもないかと思っていて。結局は、プロとか我々とか、建物の全体図を客観的にわかっている人が、こういう方法でやったほうが合理的で正しいというものがあって、だから、こっちのほうが本来的には正であろうと思っています。けれども、それが一般の方が思われているものと全然方向性が違っていると、多分それはうまくいかない。我々とか、プロの人が、このほうがいいと思っているものと、一般の方が思っていることがうまく合っているような状況というのが理想的なのかなと思っています。そこら辺がうまく被るような方向に持っていくための基礎的な情報として使わせていただけるといいかなと思いました。

【事務局】

質問ありがとうございます。そのようにさせていただきます。

【事務局】

そういう補足説明をここにしっかりと書いたら、聞いても大丈夫そうですか。要は、この質問の趣旨は専門家が考えた避難方法と皆さん方の意識にどれだけ乖離があるのかというのを記載すればよろしいでしょうか。

【委員】

そこの趣旨は書かないほうがむしろいいんじゃないですか。

【事務局】

承知しました。

【委員】

誰がアンケートを出すのかというのはとても重要なところで、多分、最初に、前文みたいなものをつくるんですよね。

【事務局】

そうですね。

【委員】

その書き方とか、その誰がというところで、結構、回収率は変わるんですよね。消防庁が出してきたら回答しようかとか、逆もあるかもしれないんですけども。なので、そこは慎重にご検討をいただきたい。

あと、このアンケートが何のためにというのが最初に書いてあれば、順次避難を大枠で、あなたの建物がどうこうと言っているのではなく、全体として検討したいんだよということが伝われば、また、考え方も違ってくるのかなと思いますので、そこはお願ひしたいと思います。

あと、火災の写真がなかなか難しくて、皆さんが思っている火災というのは、人それぞれ違うと思うんです。この写真が、「いや、これなら逃げるよ」と思うけれども、ぼやだつたら、煙が出ているぐらいだったら逃げないと思うかもしれないし。だから、火災と書いてあるだけだったら、どういう回答が返って来るかわからないけれども、これがあったら、また変わるような気もして。なかなか、どういう絵を出すかは難しいところかなと思いました。

あと、細かい話なんですが、「最上階で火災が発生したら逃げますか」という質問と、「あなたの勤務する3階で」という話があるんですけども、どこかで、「あなたの建物は何階建てですか」というのを入れておいたほうが、自分は何階建ての何階にいるんだとか、何階建てのこんなに上のほうだったらどうなんだと、ちょっとそこの意識付けになるかなと思います。実際、高層だと、何階建てなのかが考えてみないと正確にわからないというところがあるかなと思いました。

それと、最後の避難の緑のほうで、「どこまで避難したかを教えてください」という、Q7ですね。これはちょっと理由を聞いたらどうかなと思いました。1階まで避難した、直下階まで避難したとかのところです。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。前文はしっかりつくりたいと思いますので、次回までに前文は考えて、委員の皆様方に諮りたいと思います。その中に、何のためにこのアンケートを取るの

かということをしっかりと書きたいと思います。質問の主体は東京消防庁で出す予定としております。ちょっとやり方は検討中ですけれども、できればwebフォームみたいなものは使いたいと思いますけれども、まだ確定はしておりません。

あと、火災のイメージの絵なんですけれども、もしやめたほうがよければ、これは削除したいと思います。もし可能であれば、火災のパターンを、こんなに燃えているものもそうですけれども、先ほど、委員がご指摘のように、少ししか燃えていないものだとか、もっと燃えているものとか、三つぐらいのパターンで聞いたほうがよければ、その三つぐらいのパターンを用意しますし、絵は載せないほうがいいということであれば、削りたいと思います。

それと、最後の緑色のほうの問7は、しっかりと理由まで聞きたいと思います。

あと、「あなたの建物は何階ですか」というのはしっかりと入れたいと思います。以上でございます。

【委員】

まず、このアンケートの目的をもう一度確認できるといいと思っています。これは私の認識なんですが、特に順次避難に特化すると、火災が発生した時に順次避難というものが仮にあった時に、それを許容できるかみたいなことかなと思いました。そうすると、その時の、先ほどの火災の映像の話があったんですが、火災なんてみんなはあまり考えていないので、どれぐらいの火災があるかとか、どんなイメージかというのは、本当に人それぞれだと思います。その中で、何がトリガーになるかなという時に、例えば、「火災感知器が作動しました」という放送が流れたとか、あるいは、「火事です、火事です」という放送が流れましたということで、その階にいる人は、他の階は見えないわけですよね、多くの人は。その時点で判断した時にどう考えるかというのが、一つきっかけになるのかなと私は思いました。そうなると、その時のビジュアルというのは実際にはないので、それぞれの人はそれを聞いてどう思うのかということでもいいのかなと考えました。もちろん。段階に応じてやってもらえることもあるのかなと思いますが、私はそのように思いました。

それから、4枚目のスライドも含めて、先ほどの順次避難を許容できるかとか、すぐ逃げるかというのは、自分がいる階に対して何階ぐらい下とか、何階ぐらい上で火災が起こったかということと、ここにあるように、その本人が高いところにいるか、低いところにいるか、この二つがトリガーになるような気がするので、自分がいる階の真下とか、あるいは、すぐ上とか、そういう聞き方もあるのかなと思いました。

細かいところがいっぱいあるんですけども、火災で逃げる時、問6ですかね。このままでもいいんですが、エスカレーターがない建物も結構あるのかなとも思ったんですが、それは出てこなくてもいいかなと思いつつ、逆に、どの建物にもエスカレーターがないとすると、まあ、ロビーとかにあるんですかね。そうなるといいかもしれません。すみません。

それから問8、これもとてもいい質問だとも思いつつ、聞き方で答えがずいぶん変わるもの

かなと思いまして。階段で避難する場合に、階段が混雑しているとか、あるいは、混雑していることで1時間ぐらい時間がかかるてしまうとか。階段の中で待つのか、部屋で待つのかみたいなことが多分ポイントになると思うんですが。どうして待つのか。ただ、下のほうで燃えているので不安との戦いになりますね。その辺を踏まえて、もう少し具体的に条件設定をした上で聞いたほうがはつきりと出てくるのかなと思いました。

その次の7枚目の質問です。また、後ほど、細かいところはコメントしてもいいかなと思ったんですが。委員の話を伺って、なるほどと思ったのは、専門家が採用しないプランは抜いてもいいのかなと考えると、3番みたいなものはちょっとないのかなと思ったり。いわゆる専門家が提示しそうなプランというのを前提に書くといいのかなと思いました。1とか2とかですね。

それから10番のところ。ここは非常に重要で、これも聞き方次第でイエス、ノーが出てきて、今後、順次避難をそれなりに検討して、推奨していった時に、聞き方が悪いことで悪いデータが出たからやめろとか、出ないようなアンケートをつくれという意味ではないんですが、正しい聞き方が必要だと思うんです。その時に、部分焼あるいはぼやのような状況の中でということで言うと、さっきの画像をどう見せるかという問題にもよるんですけども、どういう状況かというのが、影響がどのくらいの状況なのかとか、説明し過ぎない程度にうまく伝えて、それで本当に要らないのか、要るのか。これはかなり肝になると思うので、この文言選びはすごく大事かなと思いました。

それから、緑色のほうも非常に興味があって。1個、1個の文言のところで、もう少し確認させていただいて、後ほど、コメントさせていただければと思いましたが。例えば問10とか、あるいは、問9、避難にかかった時間というのも、避難開始からなのか、ベルが鳴つてからなのか、いつスタートかによって。もともとざっくりではあるんですが、変わってくるかもしれないで、どういうふうに書いたら、聞きたいことが聞けるのかなども思ったりしました。

すみません、ちょっとたくさんお話をしましたが、以上になります。

【事務局】

ありがとうございます。まず、4ページ目の問4ですね。ご指摘のとおりかと思いますので、委員からもご指摘いただいているとおり、ビジュアルは今回はなしにさせていただいて、感知器の作動とか、「火事です」という放送なのかというところをしっかりと書かせていただき、質問をさせていただくような形に修正させていただければなと思っております。

続いて5ページ目で、最上階ということではなく、何層下でとか上でということで、ご指摘ありました。確かにそのとおりのところもありますので、ここもちょっと検討させていただき、そのような方向で調整をさせていただければと思います。

あと、問6のエスカレーターのほうは削除して、場合によってはその他のほうで記載して

いただくようにさせていただければと思います。

スライド6ページ目の問8、あなたの勤務場所で階段で避難する場合ということで、ここはしっかりと、混雑しているということで1時間ぐらいかかるという状況にさせていただいて問をしたいと思います。

7ページの問9の③は削除させていただきます。

スライド8番の問10、こちらも火災の程度がわかるようにしたいと思います。逆に、ここは画像があったほうがよろしければ画像を入れさせていただいて、この程度だということで、大した火事はないということがわかるような生成画像を付けさせていただくという方向でやらせていただければと思います。

最後に、13枚目のスライドの問9、問10ですけれども、ここも避難開始からなのか、ベルが鳴ってからなのかというところは、どちらにするかはちょっと調整させていただき、明確に起点がわかるようにさせていただきたいと思っております。これでもしご意見等があれば、さらに修正したいと思います。以上です。

【委員】

ありがとうございます。エスカレーターについては、本来、使うべきではないけれども使う人がいるとか、ロビーにもあるかもしれない、入れておいていただいて無駄はないと思うので入れたほうがいいと思いました。

【事務局】

承知いたしました。

【委員】

青いほうのアンケートで、建物の何階でとか、いろいろ想定しながら答えるものがあるんですけども。アンケートの回収率が高かつたらなんとなく分析できるかもしれないんですけども、それぞれの建物で全然変わってしまうような気もするので、同じような建物に対して「どう思いますか」みたいな聞き方もあるかなと思いました。

あと、避難訓練をしているということで事務所が対象なのかもしれないんですけども、職種みたいな、役割とか、そういうことを聞いてもいいのかなと思いました。

あと、火災のイメージ図なんですかとも、写真を載せるかどうか、ちょっと疑問ですけども、初期消火で消火器で失敗しましたとか、先ほど委員がおっしゃったみたいに、炎がこれぐらいになって、こういう状況ですみたいなものを言葉の説明であったほうがいいかなと思いました。

あと、先ほど、Q6とかで、避難手段みたいなものを聞く時に、複数回答のものは複数回答という記述があったほうがいいかと思いました。

あと、6ページのQ8の「あなたの勤務する建物で火災が発生」というところも、どういう火災なのかというのが人によって変わってしまうので、何か説明があったほうがいいかなと思いました。

あと、最後に、問10で、「建物で火災が発生しましたが」というのが、火災についてどれぐらい知っているかというのがよくわからなかつたので、説明があったほうがいいのかなと思いました。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。ご指摘を踏まえまして、生成AIの画像はもうやめまして、言葉ですべて説明をさせていただければと思っております。

前後して申し訳ありませんが、建物における役割とか、その質問はしっかりと入れたいと思います。

あと、複数回答のものについては、複数回答がだめなのか、できるのかということはしっかりと明示したいと思います。

まとめて回答したところもあるんですが、これで回答できていますでしょうか。

【委員】

はい、大丈夫です。ありがとうございます。

【委員】

ありがとうございます。ちょっと聞き落としていたかもしないんですが、今回のアンケートはネット経由か何かで実施されるんですか。質問の背景として、ネット経由ですと回収率としてはそれなりに上がるんですが、ただ、反応してくれる人たちの年齢層が若目になるという傾向もありまして、そこら辺、どのようなアンケートの仕方を考えていらっしゃいますでしょうか。

【事務局】

事務局からお答えさせていただきます。実際、ネット経由というのも初めは考えていたんですけども、それだとハードルが高いので、自衛消防訓練等、実際に全館避難等を行っていただいている建物等を踏まえて、東京消防庁として依頼させていただくような形をイメージしていただければいいのかなと思っております。その際に二次元コードなどの簡便なもので読み取っていただいて、回答していただきたいと考えております。以上です。

【委員】

わかりました。ありがとうございました。

【事務局】

やり方については、青と緑でやり方を変えていまして、青のほうはできれば簡便な方法、緑のほうは火災が発生したような状況がありますので、そこは紙も踏まえてということを考えているところです。考え方を二つに分けております。すみません、説明が足りずに失礼いたしました。

【委員】

各項目について、ばらばらとあるんですが。問1ですね。「あなたの年齢を教えてください」とあるんですけれども。この29歳以下というのが、なぜ29歳以下なのか。成人以上の方にお聞きすると思うんでしけれども、なぜ29にしているのか。高齢者は65歳以上が、今、定義だと思うんですけれども、これで見ると60～69歳、70歳以上と、10歳レベルで聞いているのはわかるのですが、この区分で聞いた時に、高齢者かどうか判断するのが難しいので、それはしなくていいのかと思います。

それから、皆さん、すごく気にされているQ3から5あたり、私も気になっているところなんですが、「あなたの主に勤務する階を教えてください」という質問があって、その後で、「3階で火災が発生しました」と書いてあります。3階の人はそれを見て避難するというのを想定されているのか。つまり、火災階、出火点に近い人たちの避難についてもアンケートでお聞きしたいのかというのが2点目になります。

関連して、青のQ10。スライド8枚目ですけれども。「あなたの勤務場所が火災による影響が低い場合」というのがあり、ここで3階と答えた方はあてはまるのかどうか。あてはまらないとイメージする人も多いのではないかというのがちょっと気になったところです。

すみません、まだあります、スライド6枚目のQ7。こちらは、理想的な「屋外まで避難したほうが良い」、「火災階の下階まで降りれば良い」という質問があるんですけれども、こちらは間違った方法は記載しなくていいのかなと。火災階の下階まで降りればいいというのは安全かというと、我々専門家からすると、必ずしもそうではないんですが。これだけではなく、煙が上に上がるで建物の上のほうに逃げるとか、屋上まで避難するといった、本来やってはいけない間違った項目とかも入れなくてもいいのかなと。意識調査ということなので、間違った意識を持っているかどうかもすべて聞かなくていいのかなということが気になっているところです。

あと2、3点ほどあって。緑のほうなんですけれども。緑のほうのスライド13ページ目です。Q10、「避難の際に感じたことを教えてください」とあるんですが、こちらは危険性についての項目が主なように感じます。危険性について聞きたいのか、それとも、その他という自由項目があるので、他のことも聞きたいのか。⑥などだと、介助、手つなぎ、抱きかかえが大変だったということで、疲労とか、そういう大変さについても聞きたいのかというのがちょっと気になったところです。

すみません、一つ飛ばしていました。Q 8なんですけれども。スライド1 2ページ目です。「避難した場所の状況について教えてください」ということなんですが、避難中の状況についてはお聞きしなくていいのかというのがちょっと気になったところです。2案中、今回、高層建築物、そういったところの1 1階以上ということで聞いているので、その際の避難中の状況、例えば、混雑状況であるとか。先ほどのQ 1 0とも関連しますが、危険性とか、要は、混雑が起きて将棋倒しになりそうな状況とか、そういったところにも関連してくると思いますので、そこは重要なのではないかと思った次第です。

すみません、長々と。以上です。

【事務局】

ありがとうございます。まず、年齢の件につきましては、ご指摘のところも確かにありますので、区分自体を再考したいと思います。2 9歳以下にしたのが、事務所ビルが多いものですから、1 0代の方があまりいらっしゃらないということで、大体大卒以上の方が多いということで、こういう切り方をしたんですけども、その辺も踏まえて、もう一度、切り方については再検討をしたいと思います。

Q 3、出火階の情報も取ればと思ってはいたんです。一応、出火階の3 階にいて、3 階の状況でどうかというのも、そのまま取ってもいいのかなと思っております。

それと、6枚目のスライドですね。間違った方法についても、確かに記載したほうがよろしいのかなと思いますので、上に逃げるとか、その辺もちょっと入れてみます。

それと、スライドの1 2枚目ですね。問8、確かに避難中の状況もあったほうがいいと思いますので、避難中の状況についてもここでアンケートを取りたいと思います。

あと、1 3ページ目の問1 0ですね。確かに、ここで聞きたいことは何なのかというのは明確ではないので、要は、両方聞きたいということですので、危険なお話もそうですし、危険ではなかったという感想も取りたいと思いますので、両方で併記させていただければと思いますので、この問の選択項目のほうは見直しをさせていただきたいと思います。

もし抜けがありましたら、ご指摘いただければと思いますが、回答は以上になります。

【委員】

ありがとうございます。すみません、1 点だけ。皆さんのが前文のところでいろいろお話をされていたんですけども、私も必要だと思っています。前文がそうなんですが、これを聞く時に、特に青のほうなんですけれども、状況想定というのが結構重要で、例えば火災が起きて、自衛消防隊が確認しに行って、火災が発生したと確定してとか。それから、その他に、もし火が出て感知器に引っかかった、それで鳴動が起こったという状況があると思うんですけども、どの段階の状況なのかというのを簡単に関係者の方にわかるように書かないと、多分、その状況想定でだいぶ回答が違ってくると思うんです。

火災のイメージのところで、皆さんご指摘をされたような感じでイメージが変わってくると思いますので、そのところが重要なと思います。

【事務局】

はい、わかりました。そこはしっかりと状況想定を、現在がどの段階なのかというところを明示させていただきたいと思います。

【委員】

青のほうのQ10で、このままでいいというか、これぐらいがちょうどいい状況かなとも思いつつ、もう少し検討していただきたいということなんですかけれども。何が言いたいかと言うと、火災室の状況をイメージ的に示すと、そこから煙や火が来ない安全な場所というのをうまく伝えにくいのかなと思いました。火災室の状況は見えるわけではないですし、実際には、そこで区画されていて、さまざまなものがあって安全だということが結構大事なので、あまりそこを例示的に示してしまうと、普段考えないような試行回路になりそうだなというがあるので、ちょっとバランスを考えていただければと思いました。ちょっと難しいとは思うんですが、すみません。

それから、緑で二つほど。12枚目ですかね。避難中と避難後に分けて、それから避難場所、この三つに分けてアンケートを取るといいと思ったんですが。13枚目のQ10のところに、わりと避難中のことも入っているのかなと思いました。避難中の中で、避難経路が混雑していたというところなんですが、我々は、廊下が混雑していたというのと、階段が混雑していたというのを聞いたりするので、もし、今回は垂直避難が大事なので、それを聞いていただけるといいかなと思いました。

それから、避難完了までに時間がかかった。これは時間が長くかかったなのかもしれません、これを聞いてもいいと思うんですけれども、上の9の質問と近いところもあるので、何か危険を感じることではないんですが、かかることで不安に思ったであるとか、そういうことが聞けるといいのかなと思います。

それから9の関連で、避難しなかった人がいた時はどうするのか。あと、データはあるのかもしれないんですが、30分以上で、もし長いものがあるすると、もっと長いやつも分けて聞いてみたほうが、データとしてはよりいいのかなと思いました。

それから、10のところの④と⑤、つまり、同じことを程度を変えて聞いている。⑤のほうは転びそうになった。④のほうは将棋倒し。つまり、さらに危険な状態、段階だと思うんですけれども。こういうものも両方聞いてもいいんですが、どういうことを聞きたいのか。それから、転びそうになったのも、分けなくてもいいんですが、階段で転びそうになったのか、廊下で転びそうになったのかとか、マトリックスにして聞きたいことを整理して、聞くことと聞かないことを分けてみるとより良いのかなと思いました。

すみません、細かいことばかりで。以上になります。

【事務局】

ありがとうございます。まず、8ページの問10については、ご指摘のとおり、火災室の状況をできるだけ明示しないようにして、言葉のほうは調整をさせていただき、部会の時にご覧いただいて、また、ご指摘いただければと思います。

それと、12枚目のスライド、避難後のお話も加えまして、避難中、避難後、避難した場所のお話ということで、三つに分けて聞かせていただきたいと思います。

あと、13枚目のスライドの問10は、回答項目のほうを、何が聞きたいのかを明確にさせていただき、①から⑦は全部考え方をさせていただきたいと思います。また、ご指摘のありましたとおり、廊下、階段、いずれの場所なのかということが取れるような形で質問を考えたいと思います。

あと、問9ですね。13枚目の問9、避難にかかった時間のところは、避難しないという選択肢も設けて、また、30分以上でも、時間をもうちょっと細かくして何分かということがしっかりと取れるようにして、最終的には自由記載の欄を設けて、何分かというのはしっかり時間が取れるようにしたいと思っております。回答は以上です。

【委員】

緑のほうのアンケートで、消防隊と接触というか、そういうことは聞かなくて大丈夫なんでしょうか。1の議題のところで、消防隊に避難を制限されたとかあったので。消防活動との交錯みたいなことが、もしかしたらちょっとあったのかなと思ったんですけども。

【事務局】

ありがとうございます。まったくそのとおりだと思いますので、それはしっかりと確認したいと思います。

【委員】

水色のほうで、Q1から6番までは、明らかに聞き方が主観目線、あなたはどう思いますかと聞いているんですけども、7番から10番もそういうふうに聞いているつもりだとは思うんですが、これは人によっては、自分が建物管理者だったらどのようにするのがいいのかなと考える可能性が無きにしもあらずかなと思って。なので、もし主観的に、あなたはどういうふうに思いますか、あなただったらどういう行動をしますかとか、あなただったらどういうふうにしたほうがいいと思いますかと聞くのであれば、そういう表現にしたほうがいいかなとちょっと思いました。

【事務局】

ありがとうございます。まったくおっしゃるとおりだと思いますので、そこはしっかりと表現したいと思います。

【委員】

あと炎の絵なんですけれども。非常放送、機械放送で男性の声が流れてきたというシチュエーションから始めると。実際、建物で、出火階以外の人たちというのは、そういうシチュエーションで火災覚知をするはずなので、「非常放送で男性の声で避難してくださいという声が流れてきました」という聞き方でも、もしかしたらいいのかなと。それも趣旨によって違うと思いますが、参考程度に。

【事務局】

ありがとうございます。非常にいいご提案だと思いますので、そのようにさせていただければと思います。

【委員】

手短にしたいと思いますが、今のQ4でいくと、火災が発生して、すぐ逃げたいのかどうか。火が出ている。状況がわからない。初期消火中ですが、初期消火に失敗しましたというのもありますよね。そんなことがないと答えられない。

それから、9、10。水色のスライド8ですけれども。委員もご指摘されていたように、状況がわからないということなんですかけれども、場合によっては、火災発生から時間。「これぐらい経っているんだったら知らせろ」みたいなことを、聞くということに意味があるのかどうかというのもご検討いただきたい。

緑色のアンケートですが、以前、マンション火災の調査を東京消防庁を介してアンケートをやらせていただいたんですけども、そのアンケート調査表は参考にされましたか。ちょっと表現が曖昧なところがいくつかあるなと思って。それを参考にしていただければということで、以上です。

【事務局】

ありがとうございます。ご指摘のとおり対応させていただきたいと思います。スライド4については、確かにご指摘のとおりだと思いますので、初期消火に失敗したのか、初期消火中ののかとか、そういった明示はしっかりとしたいと思います。

あと、以前のアンケート調査と整合が取れるように、その辺はしっかりと整合を取らせていただきます。ありがとうございます。

【議長】

予定していた終了時間が迫っていますが、何かございますか。

資料全体として何か言い忘れた等あれば、今、ご発言いただければと思います。いかがでしょうか。

特になくあれば、これですべて議事は終了いたしましたので、進行を事務局にお返しいたします。